

## KWC 三浦半島周遊⑦ 三崎マグロ切符利用

### ～深海から生まれた城ヶ島勉強会～

日時：2020年9月8日（火）快晴

集合：三崎口9：45 10時OPENBUS乗車券交換

電車：武蔵溝ノ口7：54→武蔵小杉8：03→<JR湘南新宿ライン小田原行>横浜8：27、  
（京急横浜駅でミサキマグロ切符購入¥3,480） 8：37→三崎口9：33

出発：10：30

コース：KEIKYUOPENTOPBUSにて30分→城ヶ島→ガイドによる地層勉強会（1時間）  
→マグロ切符と交換して好きなお店で昼食（4軒あり）→島内散策しバスで三崎港→海南神社  
→三崎口駅

城ヶ島の地層勉強会（説明男性と世話役女性2人ガイド） 8,000歩 約6km

参加者：吉越L・勅使河原・平嶋・平石・高橋文・伊藤真・青松・深瀬・伊藤美・熊島・桑名・奥村・井口  
（新横浜：藤本・中村） 合計 15名

#### 地図



#### 城ヶ島

風光明媚な三浦半島の情景を凝縮したような景観で知られる、鎌倉時代以来の景勝地である。漁業、軍事、交通、文学に深く関わってきた多面的な歴史を持っており、大正時代に北原白秋の『城ヶ島の雨』が評判を呼ぶと、ロマンの島として全国に名を知られるようになった。大正末期から太平洋戦争終戦までは東京湾要塞の一部として砲台が存在したが、戦後は「城ヶ島公園」として開放された。現在は磯釣、磯遊びに適する行楽地として知られる他、三崎と共に海を囲み、遠洋漁業基地三崎漁港の一角を成す。

～雨はふるふる 城ヶ島の磯に 利休鼠の 雨が降る 雨は真珠か 夜明けの霧か  
それともわたしの しのみ泣き～

三崎口 KEIKYU OPEN TOP BUS ここに集合10:30 トップバスに乗る



TOP BUS

2階席で屋根なしオープン



ガイドさん

三崎口駅看板・・・マグロ入りユーモア表示



バス屋上からの眺め 畑



海と半島



城ヶ島大橋を渡る (以前歩いて渡った記憶有り) 三崎港

11:00ガイドさん



歩いて島内案内をして  
回り各所で説明してもら  
う  
約30分

岸壁に咲く花がお出迎え・・・岩と緑に映えるピンクと黄色の花

楫(かじ)の三郎山(楫ノ神社)



級化岩盤を歩く

級化構造(グレーディング)とは、単層内部で構成粒子が、下部が粗粒で、上部に向かうにつれて連続的に細粒へと変化している構造です。時間とともに粒子を運搬する水流が弱まった場合や、乱泥流によって運ばれた粒子が堆積した場合に生じます。粗粒のほうに堆積した時点での下部だと分かるため、もともとの地層の上下方向を決めるのに役立ちます。

自然が造った層状帯長の岩肌光景は素晴らしい!



ガイドさんの詳しい説明が続きます。

海に飛び出した帯状岩盤



湾を眺める



見事なへビ? 帯状岩盤



入江になっている



この赤い橋を渡ります



自然が作る岩盤模様のいろいろ・・・現状になるまでを詳しく学習しました・・・やはり見て素晴らしい!



白い雲と青い空のもと岩盤学習は続く



腰掛にもいいですね!



円筒状の岩(?)もある



白い波状岩盤が綺麗です



入り江を眺めます、奥も深く・・・入り江の出来方も学習しました



岩盤巡り学習終わりました 11:55 ガイドさん有難うございました。昼食は予約済みの店、4テーブルで



注文済みの料理が次々に 缶ビールは別ですよ!

4テーブルに分かれて



地元の魚料理で美味しく戴きました。マグロ切符に含まれています。



この店で「天草」を買いました。これからはKWC吉越Lのガイドで名所めぐり、「馬の背洞門」が見えます



みはらし広場「あなたとわたし」モデルは？ 馬の背洞門



三浦半島の最南端・城ヶ島にある「馬の背洞門」。波や雨風の浸食によって、岩にメガネ状の穴が開いた海蝕洞穴で、自然の芸術品とも言われる美しい洞門です。穴は高さ8m、幅6mもあり、天然の洞門から覗く太平洋は絶景です。

この洞門、1923年までは洞穴が船をくぐる事が出来たそうなのですが、関東大震災の時に地面が隆起し、現在では洞穴のほぼ全体が海上に出ています。洞穴の上の細い道も昔は通行できましたが、今は崩落の危険があるようなので通行禁止になっています。

80歳の伊藤も入れて戴きました。

半島絶壁に打ち寄せる白い波



ウミウ飛来場所の標識  
その前に立つモデルは？



1列隊間隔空いていますね！



城ヶ島大橋麓で集合写真（伊藤真も合成で入れて15名全員）



**海南神社** 清和天皇の治世、皇位継承争いに絡んで讒訴を蒙り左遷された藤原資盈が貞観6年（864年）、任地の筑紫国へ赴く途中で暴風によって三浦半島に漂着し、当地の長に推戴された。その後、資盈は房総の海賊を平定したうえで福祉に努めたことから地元民に崇敬され、貞観8年（866年）に資盈が没すると、地元民は祠を建てて祀った。天元5年（982年）には現在の地に社殿が建立され、三浦郡の総社となった。治承4（1180）年、源頼朝の挙兵に呼応した和田義盛は衣笠城で畠山・江戸の諸軍と戦ったものの落城、海路房州に逃れた。折悪しく大暴風雨に遭遇し、流されて兵糧が尽きた時、龍神様に御加護を祈ったところ「筥」という竹製の漁具が流されてきた。



辛うじてこちらを用いて魚を捕り、主従飢えをしのぐことが出来た。そして、この地に「釜」を祀り、弁財天堂を建立した。承応2年(1653年)には正一位に列せられ、享保4年(1719年)には三浦半島の総鎮守となった。明治6年(1873年)に郷社となり、明治40年(1907年)には神饌幣帛料共進神社に指定されている。毎年恒例の海南神社夏例大祭は、江戸時代より挙行されてきた祭礼で、明治中期に海上渡御から陸上渡御に改変されたが、陸上渡御からでも約130年の歴史がある。三崎下町一帯で繰り広げられる神輿渡御は、港町らしく江戸時代の伝統を引き継ぎ、行道獅子に続く神輿、山車、木遣りにお囃子と見どころが多く、勇壮かつ優雅に行われる。獅子の毛を身に付けると、その1年は風邪を引かない等と昔から言われており、御利益がある。

大木



力石



本殿 立派な神社です



集合写真



壁絵が素晴らしい!



猫ちゃん、良く似合うでしょう！



この壁絵も素晴らしい！



三崎口に行く前に買い物、三崎港「うらりマルシェ」15：10バスで三崎口駅へ。

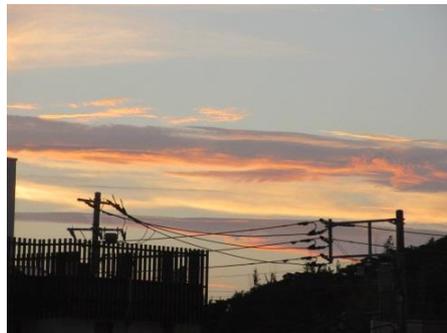


三崎口駅前にはアフターお店がなく三浦海岸駅まで行く。  
数軒あり、蜜にならないよにお店を分かれてのどを潤した。



三浦海岸駅

17：58 夕焼け お疲れ様でした。余白挿入（今日行かなかった灯台）



編集後記：三浦半島城ヶ島は過去行っているが、京急ガイド付きオープンバスは今回初体験。城ヶ島地層学習ガイドも詳しい現地説明で奇岩形成を良く理解出来ました。昼食場所も予約済みで15名吉越さんお馴染みのお店4テーブルで地元魚美味しく戴きました。吉越会長下見を含め有難うございました。コロナウイルスで小生は2月8日（土）「湘南台から茅ヶ崎香川へ向かっての公園巡り」以来の参加でした。猛暑の中でしたがガイド付きウォークは最高でした。誤記や失礼な記述があるかもしれませんが悪しからずお許しの程。説明文はHP他から引用しました。